

特定非営利活動法人世界レーザー医学連合会(NPO World Federation of Societies for Laser Medicine and Surgery) の理事長就任に際して

WFSLMS Newsletter No.7 より

渥美 和彦

Kazuhiko Atsumi

NPO 法人世界レーザー医学連合会理事長

ご存知の通り、特定非営利活動法人世界レーザー医学連合会 (World Federation of Societies for Laser Medicine and Surgery; WFSLMS)は私が主催した 1981 年の第 4 回国際レーザー医学会 (ISLSM : Laser Tokyo'81) の時に、International Confederation for Laser in Medicine and Surgery が提案され、会則案も作成されました。しかし、実行されるには至りませんでした。

その後、1996 年ギリシャで開催された国際レーザー学会で発案され、2001 年インドのチェンナイでの第 14 回 ISLSM で準備委員会が発足し、2003 年ドイツのミュンヘンの第 15 回 ISLSM で組織委員会が発足しました。

2002 年タイのパタヤ第 9 回アジア太平洋レーザー医学会 (Asian Pacific Association for Laser Medicine and Surgery : APALMS) でニュースレター委員会が組織され WFSLMS の考え方や背景を皆様方に報告して参りました。

我々が最も配慮している点の一つは、医学会と連合会の活動の相違であります。国際レーザー医学会 (ISLSM) は、個人の基礎や、臨床研究の成果を発表する場であり、個人が成し遂げた研究成果の発表の場として 2 年に一度開催され、その間の成果を発表し報告することにあります。会期中は成果の発表等、学会として活動しますが、常時の活動は会員個人に委ねられます。

一方、WFSLMS は ISLSM で発表された成果を、NPO WFSLMS の活動を通して世界に効率良く啓蒙・普及し、人類の健康と福祉に貢献することを目的にしております。

NPO WFSLMS の活動は常時行なわれ、その活動報告の場として 4 年に一度大会を開催することになっています。

いわば、ISLSM は Researcher and Developer、WFSLMS は Distributor の関係にあるのです。

学会で発表された研究成果を、着実にしかも効率よく世界に啓蒙・普及させていくことは医療に携わる者として、大切な使命と考えます。WFSLMS はその使命を担って活動を継続して参ります。

ISLSM と WFSLMS の関係とその役割とを正しく理解していただき、両会の活動に積極的に参加されんことを期待してやみません。